

第一の柱：データを核としたオープンイノベーションの推進によるSociety5.0の実現

1. 個別戦略分野におけるイノベーションの推進

- (1) Connected Industriesの推進【190億(147億)】
 ・重点5分野等におけるデータ共有などの協調領域の拡大や、AIベンチャー等と連携したデータ活用・サービス開発を支援。
 〔
 ➢ 協調領域データ共有・AIシステム開発促進【30億(新規)】
 ➢ 高度な自動走行システムの社会実装に向けた研究開発【42億(35億)】等
 〕
- (2) 先端分野における製造技術・データの活用【59億(48億)】
 ・ロボット・ドローンの利活用や電動航空機技術開発を推進。

2. イノベーションを生み出す産業基盤の強化

- (1) J-Startupを核としたスタートアップ支援
 【23億(17億)+IPA交付金46億(49億)の内数
 +JETRO交付金250億(239億)の内数】
 ・ユニコーンベンチャー創出に向け、①人材育成や補助金等による一貫した支援、②NEDO、JETRO等の連携体制強化や知財支援を実施。
- (2) AI実装・研究開発/人材育成・活用【227億(182億)】
 ・日本の現場データを活かした人工知能の開発や、量子コンピュータなどの次世代コンピュータ関連技術の研究開発。

- (3) サイバーセキュリティや産業安全保障の向上【54億(42億)】
 ・サプライチェーン全体でのサイバーセキュリティ確保、製品等のセキュリティ性能や脆弱性を検証する基盤の構築。【44億(42億)】
 ・重要技術の情報収集・分析体制等の強化。【11億(新規)】
- (4) デジタルトランスフォーメーションの推進【33億(33億)】
 ・より簡易な手段の本人確認等による行政手続コスト解消や、政策の質向上に向けたデータ活用等を実現するシステムの構築。

産業・通商・地域政策の一体的な推進

第二の柱：新たな「ルールベース」の通商戦略

1. 包摂的な経済成長に資する多角的な通商関係の構築

- (1) 相互補完的な経済協力関係の深化、インフラ協力の推進
 【69億(75億)+JETRO交付金250億(239億)の内数】
 ・JETROの体制強化等を通じて、ASEAN、中国、欧州、ロシア、インド等の各地域との相互補完的な経済協力関係を深化。
 ・米、中、印等と連携し、コスト競争力を強化しつつ、第三国インフラ協力を推進。

第三の柱：地域・中小企業の新たな発展モデルの構築

- (1) 地域の稼ぐ力・インバウンド強化
 【303億(243億)+JETRO交付金250億(239億)の内数】
 ・地域を牽引する企業による未来投資の促進、支援体制強化。【256億(243億)】
 ・新輸出大国コンソーシアムを核とする海外展開支援。【24億(新規)+JETRO交付金250億(239億)の内数】
- (2) 中小企業等の担い手確保【398億(406億)】
 ・地方中小企業等の人手不足対応の強化、M&A等も含めた事業承継の促進。【85億(87億)】
 ・経営改善(財務強化)の支援や、商工会等による伴走型支援の機能拡充・強化。【313億(319億)】
- (3) ものづくり・商業・サービス補助金等による生産性向上・働き方改革
 ・ものづくり・商業・サービス経営力向上、自治体型小規模事業者持続化支援。【60億(新規)】

第四の柱：エネルギー転換等を通じた環境と成長の好循環

1. グリーン成長戦略の実現

- (1) エネルギー転換・脱炭素化へのイノベーションの促進【2,106億(2,100億)】
 ・水素社会の実現に向けた、水素のコスト低減に向けた国際水素サプライチェーン構築・技術開発、水素ステーションの戦略的整備等の推進。【602億(450億)】
 ・次世代の再エネ等発電・CCUS(※)・蓄電池・電動車・革新素材等の技術開発、連携省エネの推進。
 ・中長期的なイノベーション創出等に向けた研究開発や海外実証の推進。
 ※CCUS: 二酸化炭素回収・利用・貯留(Carbon dioxide Capture, Utilization & Storage)。

2. 強靱なエネルギー供給構造の構築

- (1) 国内外における資源開発、エネルギー供給網の強靱化【4,084億(4,222億)】
 ・メタンハイドレート等国産資源開発の推進。燃料供給拠点の機能強化。原子力の安全性・信頼性等の向上。

第五の柱：成長と分配を包括した新たな経済社会システム

1. 産業人材育成・活用の強化 (※1)

- (1) EdTechを活用したSTEAM教育(※2)の推進/多様で柔軟な働き方の実現【24億(19億)】
 ・STEAM教育、AIを活用した個別最適化学習の公教育への導入に向けた実証やガイドラインの策定等。
 ・地域・中小企業等との人材マッチングによる多様な人材・働き方の推進。
 ※1 関連予算:サイバーセキュリティ対策人材育成【19億(19億)】、海外人材育成・研修等【44億(46億)】
 ※2 STEAM教育:科学(Science)、技術(Technology)、工学(Engineering)、芸術(Art)、数学(Mathematics)を活用した文理融合の課題解決型教育。

2. 社会保障を支える民間ビジネスの推進

- (1) 予防・進行抑制型の健康・医療システムへの転換/介護の生産性向上【37億(31億)】
 ・認知症の超早期予防や発症後の生活支援、介護等に向けた製品・サービス実証等を推進。【10億(6億)】

福島復興の加速 (1) 原子力被災地域の本格復興(※)【578億(455億)】 ・福島イノベーション・コースト構想を軸とした産業集積の加速化。

※一部、東日本大震災復興特別会計(復興庁計上)事業あり

防災・減災、国土強靱化対策(臨時・特別の措置)

- (1) 重要インフラの強靱化のための緊急対策【656億(新規)】
 ・エネルギー供給関連施設等における自家発電設備・蓄電池などの整備、耐震化・強靱化対策。

消費税率引上げに伴う対策(臨時・特別の措置)

- (1) 消費者へのポイント還元支援【2,798億円(新規)】/商店街活性化【50億(新規)】
 ・中小・小規模事業者が行うポイント還元等に対する支援や、商店街活性化支援を実施。